

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち



今日から1年生 入学おめでとう

●小中学校で入学式（詳細は8ページ）

MAY.2018

5
No.679

中元寺菜の花まつり 中元寺の自然を愛する会



↑会場近くの約2,800平方メートルの田んぼには、中元寺の自然を愛する会の皆さんが1本ずつ手植えした約3万本の菜の花が咲いていました

中元寺地区観音寺公民館前の営農組合農機具倉庫で4月7日、中元寺の自然を愛する会（宮金美樹会長）による「中元寺菜の花まつり」が行われました。町内外から多くの皆さん足を運んだ会場では、たか保育園児が合唱を披露。餅まきやビンゴゲーム、ふるさと納税でも人気の中元寺産のお米が当たる抽選会などが行われました。また、コンニャクなどの特産品や地元産の旬の野菜、生活用

品などを持ち寄ったバザーも飛ぶようになり、会場は大盛況。来場者には、つき樹会長による「中元寺菜の花まつり」が行われました。自然を愛する会（宮金美樹会長）による「中元寺菜の花まつり」が行われました。中元寺の自然を愛する会会長の宮金さん、2:「こっちに投げて」歓声が上がった餅まき、3:かわいいらしい振り付けで、元気よく歌を披露するたから保育園の園児たち、4:会場ではお餅や豚汁、おにぎりが無料で振る舞われるなど、子どもからお年寄りまで楽しんだ中元寺のイベントとなりました。

賑わう中元寺の春



1:中元寺の自然を愛する会会長の宮金さん 2:「こっちに投げて」歓声が上がった餅まき 3:かわいいらしい振り付けで、元気よく歌を披露するたから保育園の園児たち 4:会場ではお餅や豚汁、おにぎりが振る舞われました 5:地域の皆さんが威勢よく餅をつき、まつりを盛り上げました

↓一面に咲いた菜の花を見学する、たから保育園の園児たち
「黄色いじゅうたんみたい」と歓声を上げていました



津野地域活性化実行委員会 油木ダム桜ウォーキング大会



好のウォーキング日和となつた4月8日、今年で5回目となる津野地域活性化実行委員会（氏良臣委員長）による「2018油木ダム桜ウォーキング大会」が行われました。今回もダム湖を1周する6キロコースに300人、国指定重要文化財旧数山家住宅などを巡る15キロコースに124人が参加。里山の雄大な自然や景色を楽しみながら、歩、歩、歩、進んでいました。ゴール後、参加者には完歩

証や記念品が手渡され、弁当やシシ汁、焼きシイタケが振る舞われました。また地元の物産販売なども行われ、参加者は、地域の皆さんのおもてなしを受け、里山で過ごした春の一日に満足しているようでした。



4月8日、津野小学校をスタート・ゴールに油木ダム桜ウォーキング大会が行われました。120人を超える地域の皆さんボランティアで支え、「春の恒例イベントとして定着したウォーキング大会は、今年も多くの参加者で賑わいました。

津野の自然とふれあう



1:今年も多くの皆さんが津野の自然の中を歩いたウォーキング 2:15キロコースに参加。仲間と一緒に歩きました 3:ゴール後のシシ汁は絶品 4:開会式であいさつする実行委員長の氏本さん 5:上津野活性化センターでは地域の皆さんお茶を振舞い、参加者をもてなしました



津野キャラクター
「つのっしー」



皆さんの身近な相談相手です



民生委員・児童委員の活動にご理解を

◆民生委員・児童委員とは

民生委員・児童委員は、各市町村に置かれるボランティアで、住民の皆さんの相談に応じ、必要な支援を行う最も身近な相談相手です。また、子どもの見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援を行う児童委員も兼ねています。

◆活動内容

民生委員・児童委員は、医療や介護の悩み、妊娠や子育ての不安、生活上の心配ごとなど、さまざまな相談に応じています。さらに、関係機関へのつなぎ役となったり、高齢者や障がいのある人の見守りや援助などを行ったりもしています。

5月12日は民生委員・児童委員の日です

全国民生委員児童委員連合会では、5月12日を「民生委員・児童委員の日」、5月12日から18日までを「活動強化週間」と定め、PR活動を展開していきます。

添田町民生委員・児童委員協議会でも、街頭啓発や一斉訪問などを実施します。民生委員・児童委員の活動へのご理解とご協力をお願いします。



↑昨年5月も啓発活動をした民生委員

間 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係
(☎ 82-1232)

対象者には4月に通知しています 成人用肺炎球菌ワクチン予防接種

高齢者の肺炎の原因菌の1位を占める肺炎球菌が引き起こす肺炎球菌性肺炎を約80%予防するワクチンです。※すべての肺炎を予防できるわけではありません。今年度の対象者には、4月に郵送でお知らせしています。

●対象者 今年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる人

※満60歳～65歳未満の人で、予防接種法で定められている人（心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する人）も接種の対象です。

●期限 平成31年3月31日 ●自己負担額 3,000円
間 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎ 88-8111)

係長以上。()は前職



平成30年4月1日付 町職員の人事異動

【課長・副課長】▶社会教育課長兼人権同和啓発室長=信國憲文(社会教育課長補佐兼人権同和啓発室長)【課長補佐・参事補佐】▶道路整備課課長補佐兼道路河川係長兼用地維持係長=那須雄一郎(道路整備課課長補佐兼道路河川係長)▶社会教育課参事補佐人権同和啓発室男女共同参画推進係長=田中一枝(保健福祉環境課参事補佐)▶社会教育課参事補佐人権同和啓発室人権同和推進係長=川上和美(社会教育課参事補佐人権同和啓発室人権同和推進係長兼男女共同参画推進係長)▶道路整備課参事補佐兼国道500号担当係長=永田直士(道路整備課参事補佐)【係長】▶社会教育課図書館係長兼児童館係長=馬場泉(社会教育課図書館係長)【新規採用】▶吉田雄哉(住環境整備課)▶二尾勇磨(水道課)【退職者】▶倉田主税(社会教育課長兼そえだ公民館長)▶白石元司(道路整備課課長補佐兼用地維持係長)▶白石かすみ(社会教育課児童館係長)▶山本眞次(水道課主査)

間 役場総務課総務係 (☎ 82-1231)

全国瞬時放送システム放送訓練



5月16日水 Jアラート放送訓練

全 國瞬時警報システム(Jアラート)を使用した自動放送訓練が全国一斉に実施され、町でも、町内に設置している防災無線のスピーカーから次の内容が放送されます。なお、今回は放送訓練です。特に皆さんが行動する必要はありません。

●全国瞬時放送システム(Jアラート)放送訓練

▶とき 5月16日水 11時ごろ

①上がりチャイム音

②「これはJアラートのテストです」×3回

③「こちらは防災添田町です」

④下がりチャイム音

間 役場防災管理課防災安全係 (☎ 82-4002)

●洪水情報を「緊急メール」で配信

国が管理する彦山川で氾濫の可能性が高まった時や、氾濫した時に、緊急速報メールが携帯電話に配信されます。受信した場合は、川の水位や避難情報などを確認してください。

○開始日 平成30年5月1日から

○対象者 配信エリア内の携帯電話を持っている人

間 遠賀川河川事務所防災情報課
(☎ 0949-22-1830)

子育てINFO

間 添田町子育て支援センター／くるみ保育園2階 (☎ 85-0888)

お友だちが待ってるよ 育児サークルに 遊びにおいでよ！

添田町子育て支援センター

・とき 月～土 10時～16時 / ・ところ 子育て支援センター

●めだかっこ

○とき 毎週火 10時～12時

○ところ 子育て支援センター

●おんぶに抱っこ

○とき 毎週金 10時～12時

※12時～15時は相談を受け付けます

○ところ 添田町児童館



●マタニティ&ベビーサークル「あつぱつ」

○とき 隔週水 (月2回) 10時～12時

○ところ 子育て支援センター

●マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」

○とき 第3木 (月1回) 10時～12時

○ところ オークホール和室

※どちらも要予約

保健 だより

食生活改善推進員養成講座と離乳食教室

食のボランティア活動を実践している添田町食生活改善推進員の養成講座と、大切な赤ちゃんのための離乳食教室の受講生を募集します。

食生活改善推進員養成講座

離乳食教室

町民の皆さんのがんばりの手で「私たちは健康は、私たちの手で」をスローガンに様々な食のボランティアを行う食生活改善推進員の養成講座の受講生を募集します。講座は、5月から12月まで全8回あり、すべてに参加できる人が対象です。あなたもこの講座で「食と健康」を学んでみませんか。

○とき 5月29日火、6月1日水、6月8日水、6月15日水、6月22日水、6月29日水、7月6日水、7月13日水

○ところ ①5月29日火、②6月1日水、③6月8日水、④6月15日水、⑤6月22日水、⑥6月29日水、⑦7月6日水、⑧7月13日水

○時間 9時～11時30分

○対象者 町内在住の①平成29年9月～12月生まれ、②平成29年11月～平成30年2月生まれ

○申込み・問い合わせ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎ 88-8111) に電話で

○定員 各回20組

○料金 ①5月31日～10時～12時 1,500円

②7月13日～13時～15時 1,500円

○対象者 町内在住の①平成29年9月～12月生まれ、②平成29年11月～平成30年2月生まれ

○申込み・問い合わせ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎ 88-8111) に電話で

○内容 離乳食の進め方のポイント、調理実習

○持用品 筆記用具、おんぶひも、その他赤ちゃんに必要なもの

※託児あり

○申込み・問い合わせ 役場保健福祉環境課健康対策係 (☎ 88-8111) に電話で

申込みください。また、乳児健診会場でも受け付けます。

赤ちゃんには、母乳やミルクだけでなく、発育に合った食べ物を与え、成長に必要な栄養を補う必要があります。お子さんの健やかな成長と正しい食習慣の形成のために、保護者を対象に離乳食教室を開催します。

離乳食教室

赤ちゃんには、母乳やミルクだけでなく、発育に合った食べ物を与え、成長に必要な栄養を補う必要があります。お子さんの健やかな成長と正しい食習慣の形成のために、保護者を対象に離乳食教室を開催します。

離乳食教室

赤ちゃんには、母乳やミルク



清々しい朝を迎え、今日も1日元気 添田公園でラジオ体操

添田公園駐車場では、毎朝6時30分から地域の皆さん約20人がラジオ体操をしています。体操前には、岩石山登山やウォーキング、ゴミ拾いなどをし、ラジオ放送が始まると、曲に合わせて、リズムよく体を動かす参加者の皆さん。伊川加代さん(町二)は「朝から体を動かして、今日も元気です」と笑顔で語っていました。



↑冬の時期を除き、10年以上前から毎朝続いています

交通死亡事故ゼロの添田町を願って 春の交通安全運動週間

春の全国交通安全運動(4月6日~10日)が始まった6日、交通事故をなくす添田町民運動本部では、早朝から町内の主要な交差点などで安全運転を呼びかけました。添田駅前では寺西町長や田中議長らが、ドライバーに啓発グッズやチラシを配りながら、高齢運転者の交通事故防止や飲酒運転の根絶などを訴えました。



↑添田駅前では、運転手に啓発グッズを配りました

春の英彦山、シャクナゲが咲き誇る 英彦山花園シャクナゲまつり

広い敷地に咲き誇る約5千本のシャクナゲが楽しめる英彦山花園で、4月21日から30日までの間、シャクナゲまつりが行われました。晴天となった4月21日はピンクや白の花を咲かせたシャクナゲが満開。ヤマメの塩焼きやシシ汁、地元で採れた新鮮な野菜なども販売され、園内はたくさんの家族連れで賑わっていました。



↑約5千本のシャクナゲが咲き誇る英彦山花園

お寺で結ばれるすてきな出逢い 光雲寺で寺コン

4月15日、光雲寺(伊原)で、町内外から男女合わせて28人が参加して寺コンが行われました。お寺の本堂を花で飾り付け、地元で採れた旬の山菜などを使った食事や飲み物を味わいながら、フリートークで楽しく交流する参加者の皆さん。お話し苦手な人もスタッフがサポートし、6組のすてきな出逢いが誕生しました。



↑参加者にはプレゼントもあった光雲寺の寺コン

↓総合優勝した西原さん(左)。つかみ取り大会(中)では家族が大きな声援を送っていました



釣ってつかんで大盛況でした 上中元寺ヤマメ釣り大会

快晴に恵まれた4月22日、中元寺川で上中元寺青壯年クラブ(猪熊亮太会長)主催のヤマメ釣り大会・つかみ取り大会が行われました。釣り大会の優勝は、23匹、総重量2920グラムを釣り上げた西原良輝さん(久留米市)でした。今年で2回目となるヤマメつかみ取り大会は

今回も大好評。64人の子どもたちが参加し、歓声を上げ、全身びしょ濡れになりながら、夢中でヤマメをつかんでいました。

↑参加者においしいだご汁とおにぎり

↓期待を胸に、新しい学校生活が始まりました。新入生の皆さん、入学おめでとうございます



新しい学校生活がスタート

小中学校で入学式

添田中学校で4月10日、町内の各小学校で11日に入学式が行われました。今年度の新入生は添田中学校が68人、小学校が津野小3人、添田小41人、中元寺小8人、落合小5人、真木小5人です。添田中学校では、真新しい制服に身を包んだ新入生が体育館に入場。新入生を代表して野北灯さんが誓いの言葉を述べました。また、落合小学校では、新入生が在校生や保護者が見守る中、少し緊張した面持ちで体育館に整列。校長先生に名前を呼ばれると「はいっ」と大きな声で返事をしていました。式終了後は、教室に入って担任の先生の話を聞き、新しい学校生活が始まりました。

震災被災地浪江町の新酒が添田町へ 豪雨災害被災地へと寄贈

平成23年の東日本大震災で被災した福島県浪江町の米、水、酵母を使った新酒が添田町へ贈られました。高山本店(田川市)の高山友良さんが昨年の豪雨災害被災地である添田町にも届けようと4月4日に役場を訪ね、寺西町長へ6本手渡しました。寺西町長は「町内で実際に被災された地域に届けます」と語っていました。



↑浪江町の新酒を寺西町長へ手渡す高山さん(左)

↓「大きくなって帰ってきてね」とアユを川に放す園児たち。アユは元気に泳いでいました



大きくなって帰ってきてね 添田町彦山川の自然を守る会

きれいな彦山川を願って、清掃活動などをしている添田町彦山川の自然を守る会(米木一正会長)が3月26日、道の駅歓遊舎ひこさん前の彦山川河川敷で、くるみ保育園児と一緒にアユの稚魚5千匹を放流しました。この放流は元気なまちづくり活動支援事業交付金によるもので、今年で3回目。園児たちは「大きくなって帰ってきてね」と小さなバケツから優しく稚魚を放っていました。



↑「アユの赤ちゃん、元気でね」

たくさん的人が買い求めていました めんべい添田工場春まつり

3月31日、福太郎のめんべい添田工場で、春まつりが行われました。まつりでは、数量限定の福袋やめんべいアイスクリークなどが販売され、抽選会も行われました。また、キャラクターのめんべいくんも登場し、子どもたちと写真を撮って交流。パンやようかんなど町内の特産品も販売され、多くの人が賑わいました。



↑お徳用めんべいは、この日も大好評の様子でした

元気いっぱい そえだっ子

5月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY
おめでとう



いぶき
松嶋一颯ちゃん
5月13日生 ②・峰地



あおい
廣田碧ちゃん
5月24日生 ③・町二

みんな～！いつも遊んでくれて
ありがとうございます☆誕生日プレゼント
楽しみにしてます(*'▽')

6月生まれは、5月16日までに投稿ください！



Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前
の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50
文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先

koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

4年生以下の大会で優勝飾る

少年野球チーム添田フリーズ



↑第1回以来、2度目の稚加栄カップ優勝となった添田フリーズ

少年野球チームの添田フリーズが、2月17日から25日までのうちの4日間、田川市民球場などで行われた、第4回稚加栄カップ学童低学年軟式野球大会で第1回大会以来となる2度目の優勝を果たしました。今大会には県内の29チームが参加し、4年生以下の低学年が熱戦を繰り広げました。1、2回戦をコールドゲームで勝ち上がった添田フリーズ。準々決勝では、投手戦を制して1対0のサヨナラ勝ちを収めて勢いに乗ると、決勝戦では中間市のチームに競り勝ち、見事、優勝しました。また、新学年となった添田フリーズは、4月7日、8日に田川市で行われた福岡トヨタ杯第2回福岡県学童軟式野球春季大会田川支部予選を勝ち上がり、5月3日から久留米市で開催される県大会に出場します。添田フリーズはメンバーを募集していますので、興味のある小学生は見学に来てください。

3歳までの赤ちゃん 募集中です

お子さんの写真にメッセージを添えて、役場総務課広報・秘書係まで持参してください。下記のアドレスから、メールで投稿することもできます。

役場総務課広報・秘書係(☎ 82-1231)

Eメールは①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前
の読み方 ④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50
文字以内) ⑧保護者の連絡先を送信してください。

送信先

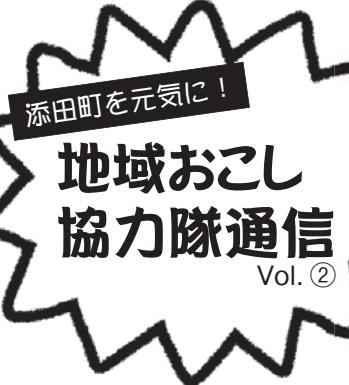
koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp

添田町に居住し、地域活性化などの活動を行う地域おこし協力隊。現在3人の隊員が活動していますが、今回はジビエ推進員として活躍している2人を紹介します。

かんき よしなり 神吉能宣



平成28年12月に着任しました神戸出身の神吉能宣です。中元寺の食肉処理加工施設を拠点に、ジビエ振興や獣害対策のため、有害鳥獣の捕獲から解体、精肉、販売までを行っています。1年間活動を行っていますが、私の活動範囲は役場と処理加工施設、山ということもあり、町内の獵師さんたちに助けていただきながら活動を行っています。その活動の中で、狩猟や獣害関係の知り合いも増えました。着任当初に比べると技術や知識はついたと思いますが、まだまだ経験が足りないので、今年度は捕獲活動と獣害対策を重視して頑張りたいです。



平成29年4月に着任しました京都出身の松尾銀河です。ジビエ振興と獣害対策のため、有害鳥獣の捕獲から解体、精肉、販売までを行っています。4月で着任から1年を迎え、仕事にも生活にも慣れてきました。仕事では獵師の方々に学びつつ解体や精肉の技術も磨いています。プライベートでは消防団に入団し、地元の方々との交流、行事への参加など、楽しんでいます。今年度は公私ともに交流の輪を広げていければと思います。添田町の郷土料理にも興味があるので、機会があればいろいろ教えていただきたいです。

まつお ぎんが 松尾銀河



●6月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します
5月16日までに役場総務課に連絡してください。
※投稿は1人1句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。
間役場総務課広報・秘書係(☎ 82-1231)

再生を押せば流れる在りし日の

老母の小言を卯月の夜に

櫻木マサ子

いにしえや岩石者が競い合う

夢と紅葉の三峰の岩

梶谷敏明

ただひとり山路かけゆく夢を見し
遅刻少年遠き日のわれ

立花克明

いにしえや岩石者が競い合う

寒晴に神宮の千木かがやり

立花克明

ふる里やミモザに消ゆる影一つ
八十路越ゆこれより一步青き踏む

老いらくの恋の話や春の雪
被災地や春は牛歩でやつて来る
苦しみを抜けたる余生四温晴
寂しいからみかんの一つ木に残す

鈴鹿雅子
安永藻香
石谷タツ子
牧野八寿子
武田晴子
森田竹子
大池みどり

老梅や墨蹟強く兜太の句
さだれ石の日裏日表あたたかし
初飛行アメリカへ孫送り出す

冬うらら青春切符奈良井まで
寒晴に神宮の千木かがやり
風薫る病は少し癒えて来し

村岡清香
島津余史衣
斎藤智寿子
柴田一世
天野ユキ海

春爛漫浮き雲ぼっかり夢心地
花吹雪浴びつつ苑を一人歩す
ことごとく皮脱ぎ捨てし今年竹

【俳句
投稿】
たんぽぽやあなたを見れば頑張れる

諫山静香

春風や徒歩に健康老の幸
木靈し届く地域の人へ

【俳句
添田福寿句会】
大池青湖選】

熊谷トシエ
鶴原幸江
安藤はじめ

八十五の兄は病もなく過ごしきて
遠くの鶯に春は逝くなり

【俳句
天籟通信添田句会】
大池青湖選】

木村寛子
福富廣枝
平井朝子

啼いてるよほらほらと孫は吾を見る
歌声喫茶のひと日樂む

【俳句
添田福寿句会】
大池青湖選】

戸谷岳や雪解水の下り来る
大塚富江

一粒の飴にすがらんとする
水音を川の歌とこそ聞ゆ

【俳句
添田福寿句会】
大池青湖選】

五十嵐田鶴
大塚富江

良き事を望むに非ずただその日
その日を無事にと祈りつつ過ぐ

【俳句
添田福寿句会】
大池青湖選】

冬ごもる蜂の如くにある時は
一粒の飴にすがらんとする

短歌 春扇短歌会 篠紫支社

良き事を望むに非ずただその日
その日を無事にと祈りつつ過ぐ

大塚成子

文芸歳時記





教育のひろば

▶土曜学習「英峰塾」と放課後学習「英峰日進塾」

新年度が始まって、1か月が過ぎました。子どもたちも新しい環境に慣れてきて、勉強やスポーツに頑張っています。

今年で10年目を迎える土曜学習「英峰塾」。中学生の保護者でつくる添田中学校おやじ会と添田中学校、添田町教育委員会が協力して、高校受験を控える中学3年生に学習の基礎・基本の確実な定着を図り、受験合格の後押しをするため、毎週土曜日に行ってています。

福岡県立大学の学生から指導を受けていますが、年齢の近い大学生とのコミュニケーションが図れることで、勉強はもちろん、将来の夢や

思春期の悩み相談など、励ましを受ける中で、将来のために何が必要かを学び、今後の進路を考える上での手助けとなっています。

さらに、昨年11月に開講した放課後学習「英峰日進塾」も引き続き行います。添田小学校5・6年生と添田中学校1・2年生を対象に、大学生の学習指導と地域スタッフなどによる見守りの中で、放課後1時間の自主学習の場を設け、子どもたちの学習習慣の定着を図っています。

タレントや映画監督として著名な北野武さんのことばです。「勉強するから、何をしたいか分かる。勉強しないから、何をしたいか分からない」

これからも子どもたちが将来の夢や目標を見つけ、努力していくための支援と応援をしています。

▶春の運動会・体育会の日程

○添田小学校運動会
6月3日(日) 予備日6月6日(木)

○添田中学校体育会

5月27日(日) 予備日5月29日(火)
※各学校では、運動会や体育会に向けた練習を始めています。子どもたちの練習の成果を見に来てください。



問 教育委員会学校教育課 (☎ 82-5963)

27日(日)は記念手ぬぐいの配布あり

●第53回 英彦山山開き

夏山シーズンの始まりを告げる「英彦山山開き」を開催します。皆さんも新緑の国史跡・英彦山を満喫しませんか。

▶とき 5月27日(日) 11時

▶ところ 英彦山山頂・英彦山神宮奉幣殿
※26日(土)19時からは、福岡県立英彦山青年の家で前夜祭が行われます。

問 役場まちづくり課観光係(☎ 82-1236)

■交流イベント同時開催

20歳~40歳の独身男性

山開きに参加する女性をおもてなしする添田町在住の男性を募集します。

▶参加費 3,900円(宿泊・食事代含む)

▶募集期限 5月15日(火)

問 役場まちづくり課施策推進係(☎ 82-1236)

初夏の英彦山はイベントたくさん

●英彦山の新緑を満喫しよう 2018 第6回 ウォーキング

▶とき 5月19日(日) 10時集合

▶集合場所 英彦山野営場駐車場/雨天中止

▶持参品 弁当・水筒

▶コース 野営場→スキー場→針の耳→わくど岩→太鼓橋→高住神社→後家杉→薬師林道

●問い合わせ・申し込み

代さん(☎ 090-6638-7523)

花村さん(☎ 090-7459-1927)



●第三回「山ほととぎす」杉田久女英彦山俳句大会

▶とき 5月20日(日) 13時

▶ところ ひこさん花工房

▶内容

▷募集句・当日句成績発表および表彰

▷アトラクション

①講演「英彦山史跡めぐり」/植田周平氏

②アコーディオン演奏 ③野点

問 大池さん(☎ 090-6003-5974)

廣田さん(☎ 090-1875-3111)

職員募集

草刈作業雇員募集

▼業務内容 町道敷地および町有地の草刈り・片付け作業など

▼応募資格 ①町内に在住している人②草刈り機使用による草刈り経験がある人③草刈り機を所有している人④要普通自動車免許(A-T車限定不可)

▼勤務時間 8時30分~16時30分(月10日程度勤務)

▼報酬 日当1万70円
~9月末、森林土木係=7月

▼雇用期間 用地維持係=6月

▼平成30年度戦没者追悼式・慰靈巡拝

問 福岡県ナースセンター
(☎ 092-631-11221)

▼参加資格 ①先の大戦における戦没者、一般戦災死没者および原爆死没者の遺族で福岡県に在住の人(三親等以内優先)

▼勤務時間 9時~16時30分
校から要請のある日)

▼賃金 日額6,000円

▼平成30年度戦没者追悼式・慰靈巡拝

問 福岡県立福岡武道館(福岡市)

▼参加資格 先の大戦における福岡県出身の戦没者および一般戦災死没者の遺族で福岡県に在住の人(三親等以内優先)

▼勤務時間 6~8時間程度
トランでホール、調理補助

▼業務内容 しゃくなげ荘(☎ 85-0123)

▼募集人数 1~2人程度
※詳しくは問い合わせください。

▼申込期限 5月18日(金)
※応募方法など、詳しくは問い合わせください。

▼必要書類 履歴書、健康診断書
問 教育委員会学校教育課教育管理係(☎ 82-5963)

▼募集人数 5人程度
子供たちにおいしい給食をうけ取る学校給食調理員を募集します

問 町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します

▼勤務日 月に5~10日程度(学年によって直接後決定)

▼賃金 日額6,000円

▼勤務時間 9時~16時30分
校から要請のある日)

▼賃金 日額6,000円

▼参加資格 ①先の大戦における戦没者、一般戦災死没者および原爆死没者の遺族で福岡県に在住の人(三親等以内優先)

▼勤務時間 6~8時間程度
トランでホール、調理補助

▼業務内容 ホテル和レストラン(経験により直接後決定)

▼募集人数 3人程度
問 ホテル和(☎ 85-0121)

▼参加費 旅費の一部補助あり
問 役場保健福祉環境課福祉・障がい者係(☎ 82-1232)

▼申込期限 6月1日(金)
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼参加資格 ピン/定員各15人
の遺族

▼参加資格 巡拝地域の戦没者

▼募集人数 1~2人程度
※詳しくは問い合わせください。

▼申込期限 5月18日(金)
※応募方法など、詳しくは問い合わせください。

▼必要書類 履歴書、健康診断書
問 教育委員会学校教育課教育管理係(☎ 82-5963)

▼募集人数 5人程度
子供たちにおいしい給食をうけ取る学校給食調理員を募集します

問 町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します

▼勤務日 月に5~10日程度(学年によって直接後決定)

▼賃金 日額6,000円

▼勤務時間 9時~16時30分
校から要請のある日)

▼賃金 日額6,000円

▼参加資格 ①先の大戦における戦没者、一般戦災死没者および原爆死没者の遺族で福岡県に在住の人(三親等以内優先)

▼勤務時間 6~8時間程度
トランでホール、調理補助

▼業務内容 ホテル和レストラン(経験により直接後決定)

▼募集人数 3人程度
問 ホテル和(☎ 85-0121)

▼参加費 旅費の一部補助あり
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼申込期限 6月1日(金)
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼参加資格 ピン/定員各15人
の遺族

▼参加資格 巡拝地域の戦没者

▼募集人数 1~2人程度
※詳しくは問い合わせください。

▼申込期限 5月18日(金)
※応募方法など、詳しくは問い合わせください。

▼必要書類 履歴書、健康診断書
問 教育委員会学校教育課教育管理係(☎ 82-5963)

▼募集人数 5人程度
子供たちにおいしい給食をうけ取る学校給食調理員を募集します

問 町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します

▼勤務日 月に5~10日程度(学年によって直接後決定)

▼賃金 日額6,000円

▼勤務時間 9時~16時30分
校から要請のある日)

▼賃金 日額6,000円

▼参加資格 ①先の大戦における戦没者、一般戦災死没者および原爆死没者の遺族で福岡県に在住の人(三親等以内優先)

▼勤務時間 6~8時間程度
トランでホール、調理補助

▼業務内容 ホテル和レストラン(経験により直接後決定)

▼募集人数 3人程度
問 ホテル和(☎ 85-0121)

▼参加費 旅費の一部補助あり
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼申込期限 6月1日(金)
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼参加資格 ピン/定員各15人
の遺族

▼参加資格 巡拝地域の戦没者

▼募集人数 1~2人程度
※詳しくは問い合わせください。

▼申込期限 5月18日(金)
※応募方法など、詳しくは問い合わせください。

▼必要書類 履歴書、健康診断書
問 教育委員会学校教育課教育管理係(☎ 82-5963)

▼募集人数 5人程度
子供たちにおいしい給食をうけ取る学校給食調理員を募集します

問 町立小学校に勤務する学校給食調理員を募集します

▼勤務日 月に5~10日程度(学年によって直接後決定)

▼賃金 日額6,000円

▼勤務時間 9時~16時30分
校から要請のある日)

▼賃金 日額6,000円

▼参加資格 ①先の大戦における戦没者、一般戦災死没者および原爆死没者の遺族で福岡県に在住の人(三親等以内優先)

▼勤務時間 6~8時間程度
トランでホール、調理補助

▼業務内容 ホテル和レストラン(経験により直接後決定)

▼募集人数 3人程度
問 ホテル和(☎ 85-0121)

▼参加費 旅費の一部補助あり
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼申込期限 6月1日(金)
問 福岡県戦没者慰靈巡拝

▼参加資格 ピン/定員各15人
の遺族

▼参加資格 巡拝地域の戦没者

▼募集人数 1~2人程度
※詳しくは問い合わせください。

▼申込期限 5月18日(金



神幸祭幕開け 勇壮、神輿駆ける

4月14日と15日、1000年以上の歴史を持つ英彦山神宮の神幸祭が行われ、3基の神輿が勇壮に参道を駆け抜けました。初日は雨の中、奉幣殿から銅鳥居付近のお旅所までを目指すお下り、翌日は奉幣殿まで戻るお上りが行われた神幸祭。白い法被で鉢巻きを締めた男衆約80人が、重さ約400キロの神輿を担ぎ「わっしょい、わっしょい」と威勢のいい掛け声で約800メートルある参道の石段を駆けました。また、落合小学校女子児童による華麗な稚児舞や勇壮なまさかり舞、獅子舞も披露され、田川地区の神幸祭の幕開けを飾りました。

年の時代」と言われています。添田町、高齢化率38%、65歳以上が4千人近くいます。▼シニアパワーップ塾を開校し、皆さん的能力・技能の再発見に頑張っています。今まで全くやったことのないものにチャレンジしようと言う方が多いのに驚きました。▼そうなると、次に考えなければならないのが、高齢者・シニアが働く仕事の場を作ること、そして新しいセカンドライフの働き方を工夫する事です。▼まず、仕事の場ですが、休耕地を利用して露地栽培で野菜を作る畑にしたり、学童保育を手伝つてもらつたり、水耕栽培を用いた野菜工場をつくり、車椅子になつても農業が出来るようにポット栽培をしたりなどしてはどうかと思案しています。▼働き方も、元気な人が働けばいいのではなく、80歳になつて、例えば車椅子になつたとしても、1週間に1回か2回、農業で仕事をしたいと思えば働く機会がある、そういう就労の場をつくりたいと思います。▼ワークシエアリングもそうです。例えば2人分のフルタイムの仕事を5人のチームで時間をうまく組み合わせながら行うなどです。▼それには、高齢者と事業(者)をうまくマッチさせる中間組織が必要です。NPOであれ、役場であれ、うまく回すシステムが必要不可欠です。▼働くということですが、健康寿命や自立期間の延命につながると確信しています。▼この構想の実現に向け、今後の施策で努力していきたいと思います。どうか町民の皆さまの力強いご支援をよろしくお願ひします。



広報そえだ
町長室

風薫る五月、青葉の香をただよわせて心地よい風が吹き渡っています。暑い夏の前章です。▼世界的に見ても、今、日本は「人生100年の時代」と言われています。添田町、高齢化率38%、65歳以上が4千人近くいます。▼シニアパワーップ塾を開校し、皆さん的能力・技能の再発見に頑張っています。今まで全くやったことのないものにチャレンジしようと言う方が多いのに驚きました。▼そうなると、次に考えなければならないのが、高齢者・シニアが働く仕事の場を作ること、そして新しいセカンドライフの働き方を工夫する事です。▼まず、仕事の場ですが、休耕地を利用して露地栽培で野菜を作る畑にしたり、学童保育を手伝つてもらつたり、水耕栽培を用いた野菜工場をつくり、車椅子になつても農業が出来るようにポット栽培をしたりなどしてはどうかと思案しています。▼働き方も、元気な人が働けばいいのではなく、80歳になつて、例えば車椅子になつたとしても、1週間に1回か2回、農業で仕事をしたいと思えば働く機会がある、そういう就労の場をつくりたいと思います。▼ワークシエアリングもそうです。例えば2人分のフルタイムの仕事を5人のチームで時間をうまく組み合わせながら行うなどです。▼それには、高齢者と事業(者)をうまくマッチさせる中間組織が必要です。NPOであれ、役場であれ、うまく回すシステムが必要不可欠です。▼働くということですが、健康寿命や自立期間の延命につながると確信しています。▼この構想の実現に向け、今後の施策で努力していきたいと思います。どうか町民の皆さまの力強いご支援をよろしくお願ひします。